



# 兵庫県立がんセンター 消化器内科



「 短期間でも最先端のがん診療に触れてみませんか? 」

## 病院の特色など

兵庫県立がんセンターは明石市にある病床360床のがん特化した専門病院で、「都道府県がん診療連携拠点病院」として多くのがん患者さんの診療を行っています。またがんゲノム医療拠点病院として遺伝子パネル検査・エキスパートパネルを積極的に取り入れ、がん腫を越えた個別化治療も推進しています。

## 診療科の特色など

消化器内科は当センターにおける消化器がんに対する内科診療を担っています。内視鏡領域、肝胆膵領域、薬物療法領域に臨床診療を統合し、各領域リーダーを中心に各疾患についての診療をチームで行っています。基本的にスタッフは各領域に軸足を置きながらも全ての領域の診療に関わることで、専門性の向上と消化器がんジェネラリストの両立を目指しています。各領域カンファレンスと、各疾患カンサーボード（消化器外科、放射線診断科、照射線治療科など）を毎週行うことで、コンセンサスを形成しながら最良の診療方針を決定しています。

## 実績（令和4(2022)年度）、その他

外来患者 20,910名、入院患者 11,643名

内視鏡検査；

上部3,862件、下部1,621件、小腸17件、

ERCP197件、EUS 419件 (EUS-FNA105件)

内視鏡治療；

ESD235件、EMR131件、EVL1件、止血術35件、食道拡張術95件、

EBS102件、EST28件、PEG38件、PDT14件、ステント1件

超音波ガイド下治療；4件（PEIT1件、ラジオ波3件）

経カテーテル治療件数（院内総数）；25件

薬物療法；

外来実施数；3981件

新規患者数；

食道癌46名、胃癌45名、大腸癌70名、膵臓癌37名、胆道癌8例、

小腸癌2名、肝細胞癌14名、神経内分泌腫瘍6名

ペプチド受容体放射性核種療法（ルタテラ治療）；5名

学会認定；

日本内科学会認定教育関連病院、日本消化器病学会認定施設、

日本消化器内視鏡学会指導施設、日本肝臓学会認定施設、

日本膵臓学会認定指導医制度 指導施設、

日本胆道学会認定指導医制度 指導施設

消化器がんに対してあらゆる内科的診療を深く学ぶことができます。また、指導医の先生方は懇切丁寧に指導して下さり、初歩的な内視鏡操作からEUS-FNAや抗がん剤治療など専門的な範囲まで指導を独り占めすることが可能です！研修は必ず実りあるものとなります。ぜひ、ご検討ください。

金田 航亮先生（初期臨床研修2年目）

兵庫県立尼崎総合医療センター所属 当院で1ヶ月間研修

## 先輩からの一言

自身の希望に準じて、消化管のESD、EMR、胆膵のERCP、EUS、肝生検、RFA等幅広く従事しております。化学療法やICIを用いた薬物療法に関しても、エビデンスが次々と加わり専門性が高くなってはいますが、経験豊富な指導医のもと奮闘しているところです。後期研修時の院外研修先として、また後期研修後の訓練の場として当院は申し分ない環境です。

柴田 精彦先生（7年目）

消化管、胆膵、肝それぞれの癌治療に携わり、内視鏡・エコー検査、処置、化学療法、学会発表などの全部が経験できます。5-6年目の医師は多くないため、数多くの症例を経験できます。そして、どの分野でも優しく頼れる指導医の先生がいます。消化器内科医として確実に大きく成長できます。興味ある方はぜひ病院見学に来てください。

和田 友紀先生（6年目）

## 上級医からのエール

年間おおよそ食道ESD 70件、胃ESD 90件、大腸 ESD 50件、咽頭 ESD 90件、食道PDT 10件を行っています。楽しく内視鏡手技を学ぶことができますので、いっしょに内視鏡治療をしませんか？

山本佳宣：内視鏡リーダー

肝癌・胆道癌・膵癌・神経内分泌腫瘍は非常に豊富な症例があり、化学療法、内視鏡処置（EUS-FNA、Interventional EUS、ERCP）、エコー下処置（肝生検、PTBD、RFA）など、診断・治療・合併症対応・緩和治療に至るまで、トータルマネジメントを行っています。若手の先生には上級医とマンツーマンで習得できる体制を整えています。

三木生也：肝胆膵リーダー

様々な消化器がんに対する薬物療法が経験できます。苦手意識のある先生も多いと思いますが、上級医に教えてもらいながら、診断～治療～緩和ケアまでの流れが身に付きます。また多くの臨床試験や治験（第Ⅰ相～第Ⅲ相）を行っており、新薬に触れる機会も多く化学療法の専門的な知識を得て更なるステップアップもめぐる環境です。

武川直樹：薬物療法リーダー